

三屋清左衛門残日録 藤沢周平



みつやせいざえもん 三屋清左衛門（奥小納戸勤め→元用人） — きわ 喜和（亡き妻）

又四郎（息子 勘定方） — さとえ 里江（妻）、平助（下男）

ようすけ 杉村要助（御蔵方） — なつ 奈津（妻 清左衛門の三女）

かよ 加代（要助の姉）

はつとりやえもん 服部弥右衛門（元郡奉行 里江の父）

ごうのすけ 剛之助（藩主の嫡男）

たきの 滝野（江戸老女）、まつえ 松江（御側女中）

いわみのかみ 石見守信弘（藩主の弟）、みつごろう 光五郎信正（長男）、ゆうじろう 友次郎信成（次男）

いぬいもはちろう 犬井茂八郎（江戸家老）

あいばよしちろう 相庭与七郎（江戸近習頭取）

やたゆう 金橋弥太夫（元近習頭取）

けいざぶろう 小木慶三郎（近習組→代官）、みつや 高村光弥（近習組）

きんのすけ 黒田欣之助（近習組）、とらた 村井寅太（郷方廻り）

きしろう 船越喜四郎（用人）

おおつか 大塚平八（右筆）、へいざぶろう 平三郎（息子）

かげゆ 山内勘解由（大目付）、寅之助

さくじゅうろう 浅井作十郎（徒目付）

ひぐち 樋口孫右衛門（徒目付）

とらのすけ 内藤寅之助（家老）

まじまやへえ 間島弥兵衛（家老）

まごじろう 細谷孫次郎（家老）

きへえ 山村喜兵衛（前筆頭家老）、まんのじょう 万之丞（嫡男）

ゆみのすけ 朝田弓之助（組頭→筆頭家老）

じろうのすけ 遠藤次郎助（前中老→筆頭家老）

やすとみ 安富忠兵衛（前中老 安富源太夫の本家）

げんだゆう 安富源太夫（分家の養子） = 池田与之助

くわた 桑田小左衛門（前中老）

へい えもん 野田平右衛門（御供頭）、へいくろう 平九朗（息子）

さえき 佐伯熊太（町奉行 清左衛門の友人）

横山半蔵（同心）

栗原又兵衛 (郡奉行)

金井奥之助 (配下)、金井祐之進 (奥之介の息子)

小沼惣兵衛 (近習組→勘定奉行 幼名金弥)、おはつ (妾)

相庭勘左衛門 (元郡奉行)、与七郎 (息子 江戸近習頭取)

宮内外記 (組頭)

山根備中 (組頭)

犬井彦之丞 (馬廻組)

安藤市兵衛 (組頭)

村川玄番 (組頭)、助之丞 (息子 小姓組)

加瀬伝八郎 (番頭) — 波津 (妻 杉浦の娘)、多美 (娘)

杉浦平太夫 (物頭)、波津 (娘)

中野峯記 (番頭)

岡安茂太夫 (番頭)

藤川金吾 (小姓組) — 多美 (妻 離縁 波津の娘)

杉谷利兵衛 (御小納戸組頭)

池内弥右衛門 (御小納戸組頭)

金井奥之助 (御小納戸勤め) — 多加 (妻 池内の三女)

三宅藤右衛門 (御納戸頭)

白石直右衛門 (外記流鉄砲)

安西佐太夫 (弟子 勘定方)

平松与五郎 (御兵具方 中根道場の高弟) — 多美 (後添え)

桜井孫蔵 (代官)

小室甚八 (足軽)

笠原重助 (郷方勤め)

友世 (御餌差頭の娘) — 横山権七郎 (婿養子)

年江 (餌差足軽の女房 友世の友達)

中根弥三郎 (無外流道場主) — 杉乃 (妻)、与一右衛門 (先代)

成瀬喜兵衛 (中根道場の師範代 御勘定目付)

平松与五郎 (御兵具方) — 多美 (妻)

土橋謙助 (高弟)

納屋甚之丞 (天才剣士)

保科穆山 (塾長)、笙一郎 (息子 学者)

多田掃部 (野塩村の豪農)

おみよ (寡婦)

鳴戸 (菓子屋) おうめ (末娘)

やましる とくべ え  
山城屋徳兵衛（呉服商）

するが  
駿河屋庄八（呉服商）

おうみや  
近江屋（呉服屋） 竹之助（三男）

わくい  
涌井（料理茶屋） みさ（女将 油問屋三海屋の元嫁）、稲次郎（元夫）

せいじ  
清次（料理人 元情夫）

おなみ（女中頭）、おけい（酌取り）、六助（奉公人）

おひで（料亭 播磨屋の 婢）

つばな屋（小料理屋） おしま（酌取り）

こだま やかんしち  
児玉屋勘七（高利貸し）

とくげん  
徳元和尚（寿岳寺住職）